



木材の
貿易商社

株式会社アジアトレーディング

本社 / 群馬県前橋市東金丸町60-5 TEL.027-212-5597 <https://asia-trading.co.jp>
創業 / 1982年 従業員数 / 20名(2022年4月)

職場見学可能です

海無し県「群馬」に貿易の会社があるって本当？

世界各地から建築に使う木材を輸入して、販売する会社があります。

私たちは、世界各地の木材店から木材を購入し、船で日本に輸入そして販売をする貿易会社です。港に到着した木材をすぐに前橋の倉庫に運び、そこで保管・管理して販売をしています。大量に購入することと港で保管しないことで、経費を削減、安価でお客様に販売をしています。災害が少なく、広い土地が見つげやすく、そして関東各地へのアクセスが整った群馬県だからこそできることです。



貿易はこういった流れ？ (日本に来るまでの流れ) 私たちの輸入システムを紹介します！



①発注

合板はインドネシア、SPFはヨーロッパとさまざまな国から良質な木材を選定し、購入。輸入手続きをします。

②直輸入

コンテナで大量に輸入。インドネシアからは1週間、ヨーロッパからは2カ月程で日本の港に到着します。

③日本に到着

40フィート(床面積約28㎡)コンテナで、月に70~100コンテナ分が東京や横浜などの港に到着します。

群馬から貿易をするってすごいね！



どんな木材が入ってくるの？

建材、DIY向け、木工品などの用途に応じた木材があります。

SPF/ ホワイトウッド

カナダの3種類のマツ科をミックスしたSPF木材は建材用。ホワイトウッドは、ヨーロッパ産。建材やDIY向けです。



合板・ランバーコア / その他

木材を薄く切って重ねた合板、ランバーコアは木片ブロックと板を合わせたもの。どちらも建材に使用されます。



日本から商品が届くまでの流れは？

私たちの会社の特徴である日本到着後の流れを紹介します。

日本到着

日本の港に届いた木材は、書類確認などを終え、すぐに群馬へ。港での保管費用をカットするという利点があります。コンテナごと大型トラックに乗せて運びます。

清滝倉庫へ

毎朝港よりトラックが到着。1日に3コンテナ分が倉庫に運ばれます。荷下ろしされた木材はスタッフが検品して、種類別に分けられます。通常港で行われる作業がここで行われます。



倉庫から各事業所(お客様)へ

種類別に倉庫に保管された木材をお客様へ、発送します。自社で運送を行っているため、量や時間など細かなニーズに対応できます。



港の倉庫がないことで、コストダウンが実現できるんだね！

ワンストップで安定供給！
供給不足がないように自社倉庫で豊富に在庫を管理しています。

社員の仕事や役割働き方は？

一人の社員が多くの役割を担います！

営業

商品の買付、検品、輸入手配をします。また木材を建材屋さんやホームセンターといったお客様に販売。買付からお客様のアフターフォローまで、マルチに活躍します！



倉庫管理

毎日大量に木材が届く倉庫で、物量や売れ行き、配送順を考慮して木材を管理します。風通しを考えて、木材をベストな状態に保ちます。



運送部

安全に確実に木材を配送します。自社の運送システムによりお客様の要望に細かく対応します。北は仙台、南は名古屋まで木材を運びます。



Q&A 働く人の声を聞いてみよう！

【1日のスケジュール】

8:15/掃除、倉庫確認
本日出荷分の木材を確認。準備をします。



8:30/発注確認
翌日以降の出荷を確認。準備をします。



12:00 休憩

13:00/積込作業
発注分をトラックに積み込み。



15:00/事務作業
お客様への見積もり作り、仕入れのプランを立てます。



Q.担当している仕事を教えてください。
お客様からの発注を受けて、木材の発送をします。内勤はもちろん、倉庫でフォークリフトに乗って作業もします。私は合板を専門的に扱っています。英語でやりとりして輸入の発注作業もします。

Q.この仕事の魅力は？
海外との密接なやり取りを経て、日本に木材が届く、貿易の一連の流れに携わっていることはとても魅力的です。

Q.今後の目標は？
環境が整ったら、海外に足を運んで木材に関する知見を広げたいですね。木材は、持続的に確保できる資源です。環境に優しい材料としてもっと多くの人に広めたいと思います。



営業
たぐち まなぶ
田口 学さん